

疫学・健康政策学講座

Epidemiology and Health Policy

教授 関根 道和 Michikazu Sekine
助教 立瀬 剛志 Takashi Tatsuse

◆ 研究概要

疫学・健康政策学講座は、医学薬学研究部の組織再編に伴い平成 25 年 11 月に新規に開講された講座である。疫学研究にもとづく健康政策への貢献を主なミッションとしている。現在、地方公務員約 5 千名を対象としたストレスと健康に関する研究（日本公務員研究）や富山県内の約 1 万人を対象とした小児期からの生活習慣病予防に関する研究（富山出生コホート研究）を実施している。日本公務員研究は、英国のロンドン大学ユニバーシティカレッジおよびフィンランドのヘルシンキ大学との国際共同研究である。また、疫学や統計技術を活用した医学教育分野や医療経営分野との学際研究を行っている。研究成果は、学会発表や論文公表、講座ホームページによる公表、地域や職域における講演、自治体と協働しての健康政策の策定などの形で研究成果の還元を図っている。

◆ 著 書

- 1) 関根道和. 食と睡眠－生活習慣の連鎖と社会的決定要因. 根ヶ山光一, 外山紀子, 河原紀子編. 東京：東京大学出版会；2013. 子どもと食：「食育」を超える；p. 197-210.

◆ 原 著

- 1) Silventoinen K, Tatsuse T, Martikainen P, Rahkonen O, Lahelma E, Sekine M, Lallukka T. Occupational class differences in body mass index and weight gain in Japan and Finland. J Epidemiol. 2013;23(6):443-50. (Journal of Epidemiology, The Best Paper of The Year 2013)
- 2) Tatsuse T, Sekine M. Job dissatisfaction as a contributor to stress-related mental health problems among Japanese civil servants. Ind Health. 2013 May;51(3):307-18.
- 3) 酒井 渉, 水野 薫, 原澤さゆみ, 立瀬剛志, 吉永崇史, 松井祥子, 高倉一恵, 四間丁千枝, 島木貴久子, 島田尚佳, 佐野隆子, 北島 勲. 修学サポートグループの有効性についての検討－学生支援モデルとの関連から－. Campus Health. 2013 ; 50(2) : 74-8.

◆ 学会報告

- 1) Sekine M, Tatsuse T. Psychosocial stress, work hours and work-family conflicts as explanatory factors for employment-grade and gender differences in quality of working life (Hatarakigai): the Japanese civil servants study. The 2013 Global Conference on Business and Finance Research; 2013 Jan 2-5; Las Vegas.
- 2) Sekine M, Tatsuse T. Employment-grade and gender differences in job satisfaction of Japanese civil servants: roles of psychosocial stress, work hours and work-family conflicts. The 2013 Global Conference on Business and Finance Research; 2013 Jan 2-5; Las Vegas. (Public Administration and Management Session, Best in Session Award)
- 3) Sekine M. A comparison of financial performance measures and possible contributing factors among Japanese national university corporations. The 2013 Global Conference on Business and Finance Research; 2013 Jan 2-5; Las Vegas.
- 4) Fujimura Y, Sekine M. Consideration on a transition and suitability of national or municipal university hospitals' inventory after incorporation: from the viewpoint of disaster risk management. The 9th International Health Economics Association World Congress; 2013 Jul 7-10; Sydney.
- 5) 立瀬剛志, 藤森純子, 関根道和, 中嶋 謙. 高齢期の QOL に関連する心理社会的因子の検討－富山エイジレス研究調査報告－. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 6) 藤村裕子, 立瀬剛志, 関根道和. 職域集団における不安及び悩みの関連要因に関する研究：ワーク・ライフ・バランスの視点より. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 7) 山田正明, 立瀬剛志, 関根道和. 地方公務員におけるストレス対処能力の関連要因. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 8) 宮地正典, 立瀬剛志, 関根道和. 職域における運動習慣と主観的睡眠の質の縦断的研究. 第 47 回富山県公衆衛生学

会；2013 Feb 7；富山。

- 9) 峯村 創，関根道和，立瀬剛志. 小学生における学力・体力の関連要因～47 都道府県データによる生態学的分析～. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 10) 高瀬義祥，青島優子，井原弘人，相馬大輝，辻 利奈，松井 愛，山岸加奈，和田輝至，渡辺一海，峯村 創，関根道和. 中学生の学力・体力の関連要因に関する研究－47 都道府県データによる生態学的分析－. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 11) 山崎さつき，七原佳洋，橋本昌哉，榎本 洸，桑野剛英，近藤大地，鈴木琢哉，高橋秀輔，丹内秀典，津田竜広，湯澤真梨子，関根道和. 国立大学附属病院の財務分析. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 12) 荒木裕子，金 聡美，十二由光，館森芽子，水口葉月，宮野晴香，河村瑞穂，若杉 央，立瀬剛志. 小学 3，4 年生における睡眠の質に関する要因について. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 13) 樽田泰宜，立瀬剛志，小林俊哉，関根道和. 地域健康政策の策定に向けた支援とコーディネート. 第 47 回富山県公衆衛生学会；2013 Feb 7；富山.
- 14) 藤森純子，立瀬剛志，本田 徹，永田勝太郎，中森義輝，関根道和. 退職後の社会参加に向けた実践報告－男性退職者を中心とした自律的社会支援実現に向けた「ケアウィル」研究報告－. 第 55 回日本老年社会科学大会；2013 Jul 4-6；大阪.
- 15) 須永恭子，立瀬剛志，関根道和，小林俊哉，山田広明. 山間過疎地におけるメンタルヘルスのリスクおよびベネフィット因子－富山高齢地域スタディー第 1 報－. 第 54 回日本社会医学会総会；2013 Jul 6-7；東京. (奨励賞受賞)
- 16) 立瀬剛志，須永恭子，関根道和，小林俊哉，山田広明. 山村過疎地における健康格差と心理社会的因子の関連－富山高齢地域スタディー第 2 報－. 第 54 回日本社会医学会総会；2013 Jul 6-7；東京.
- 17) 小林俊哉，立瀬剛志，須永恭子. 富山地域のストレス低減を目指したゲートキーパー養成の現状と展望－ソーシャルキャピタルの観点から－. 第 54 回日本社会医学会総会；2013 Jul 6-7；東京.
- 18) 山田広明，橋本 敬，立瀬剛志，須永恭子. 自律的なコミュニティ活動を促す社会的要因－エージェントシミュレーションとデータ分析による検討－. 第 54 回日本社会医学会総会；2013 Jul 6-7；東京.
- 19) 関根道和. 全国 47 都道府県のソーシャルキャピタルと子どもの学力・体力・生活・健康. 第 52 回富山県小児保健学会；2013 Oct 13；富山.
- 20) 峯村 創，関根道和，立瀬剛志. 小学生の学力・体力に関する生態学的分析. 第 52 回富山県小児保健学会；2013 Oct 13；富山.
- 21) 立瀬剛志，関根道和，濱西島子，藤村裕子，野瀬早織，峯村 創，山田正明. 地方公務員における 2000 年代 10 年間のメンタルヘルス関連指標の変化：日本公務員研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会；2013 Oct 23-25；津.
- 22) 峯村 創，関根道和，立瀬剛志，濱西島子，藤村裕子，野瀬早織，山田正明. 家族構成と睡眠の質との関連：日本公務員研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会；2013 Oct 23-25；津.
- 23) 野瀬早織，関根道和，立瀬剛志，濱西島子，藤村裕子，峯村創，山田正明. 親・配偶者・子どもとの同居とメンタルヘルスの関連について：日本公務員研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会；2013 Oct 23-25；津.
- 24) 山田正明，関根道和，立瀬剛志，野瀬早織，峯村 創，藤村裕子，濱西島子. 職域集団における身体，精神的健康度と心理社会的要因の関連研究：日本公務員研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会；2013 Oct 23-25；津.
- 25) 藤村裕子，関根道和，立瀬剛志，濱西島子，山田正明，峯村 創，野瀬早織. ワーク・ライフ・バランスの視点からの『悩みや不安』の関連要因：日本公務員研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会；2013 Oct 23-25；津.
- 26) 藤森純子，立瀬剛志，永田勝太郎，須永恭子. ケアウィルプランニングの実践と評価－老年期の生きがいを支える対人領域構築の役割－. 第 29 回日本ストレス学会総会；2013 Nov 8；徳島.
- 27) 立瀬剛志，須永恭子，小林俊哉，倉知正佳，鈴木道雄. 地域の核となるゲートキーパー養成のニーズと展望－講習会参加者の調査結果から－. 第 41 回北陸公衆衛生学会総会；2013 Nov 18；富山.
- 28) 山下美幸，立瀬剛志，小林俊哉，関根道和，石原佳津子，金森勝雄. 地域健康政策における業種間連携と事業認識－保健・福祉・地域づくり分野の視点の違い－. 第 41 回北陸公衆衛生学会総会；2013 Nov 18；富山.

◆ その他

- 1) 野瀬早織，関根道和. 朝ごはん～富山スタディーの研究結果が示すその重要性. 特集 しつけを科学する. チャイルドヘルス. 2013；16(3)：153-156. (依頼原稿)
- 2) 藤村裕子，関根道和. コホート研究からみた子どもの睡眠と健康. 特集 子どもの眠りと健康－小児科医として知っておきたい子どもの眠りの up to date－. 小児科臨床. 2013；66(10)：15-20. (依頼原稿)

- 3) 山田正明, 関根道和, 「早寝・早起き・朝ごはん」で生活習慣病予防. 給食ニュース, 少年新聞社; No.1585. 2013 Nov 10 8. (依頼原稿)
- 4) 関根道和. なぜ管理職は仕事の満足度が高いか? 地方公務員のストレスと健康に関する調査から. 富山県医師会報「医報とやま」. 2013 Aug 15; 富山. (依頼原稿)
- 5) 関根道和. 社会民主主義型福祉国家レジームは循環器危険因子の格差縮小に寄与するか? —日本・英国・フィンランド国際比較研究—. 第 49 回日本循環器病予防学会 日本循環器管理研究協議会総会 ミニシンポジウム「循環器疾患の社会的格差」; 2013 Jun 14; 金沢. (シンポジスト, 座長)
- 6) 関根道和. 睡眠格差—健康日本 21 (第 2 次) の推進に向けて. 日本睡眠学会第 38 回定期学術集会 シンポジウム「健康日本 21 (第 2 次) と睡眠公衆衛生」; 2013 Jun 28; 秋田. (シンポジスト)
- 7) 藤森純子, 立瀬剛志. 団塊世代のケアウィル. 第 19 回日本実存療法学会市民公開シンポジウム; 2013 Oct 2; 東京. (シンポジスト, 座長)
- 8) 関根道和. 地域診断にもとづく小児保健. シンポジウム「地域診断—健康日本 21 (第 2 次) の視点から—」. 第 52 回富山県小児保健学会; 2013 Oct 13; 富山. (シンポジスト)
- 9) 関根道和. “孫育て” どうしてる 今月下旬 祖父母が談義. 中日新聞. 2013 Jun 5. (新聞記事)
- 10) 関根道和. 「孫育て」アドバイス 射水市 悩みや不安語り合う. 北日本新聞. 2013 Jun 21. (新聞記事)
- 11) 立瀬剛志. 社会ケアと健康—地域活動のこれからを考える. 富山県男女参画協働参画推進員地域別研究会 (新川ブロック); 2013 Jan 26; 舟橋. (講演)
- 12) 立瀬剛志. 職場のソーシャルキャピタル～支えあう職場を目指して～. 舟橋村職員メンタルヘルス研修会; 2013 Feb 15; 舟橋. (講演)
- 13) 立瀬剛志. 生活におけるメンタルサポートの必要性. 平成 24 年度地域ストレス対策教育事業 ゲートキーパー講習会 (応用編); 2013 Feb 24, Mar 10; 富山. (講演)
- 14) 立瀬剛志. 仕事の質とメンタルヘルス. 平成 24 年度管内地域・職域連携推進協議会; 2013 Mar 6; 上市. (講演)
- 15) 立瀬剛志. 地域で取り組む健康づくり. 富山市地区健康づくり推進会議 (八尾ブロック); 2013 Mar 25; 富山. (講演)
- 16) 関根道和. 子どもの格差・貧困問題を考える—生活習慣・教育機会・健康—. 第 22 回メディスク (北陸 3 県医療系学生・医療従事者交流会 Medical Scrambled Egg) 講演会; 2013 Jun 8; 富山. (講演)
- 17) 関根道和. 早寝・早起き・朝ごはん健康増進・学食増進. じいちゃん・ばあちゃんの孫育て談義事業講演会 (主催: 射水市教育委員会・射水市家庭教育アドバイザー連絡協議会, 協力: 海老江地域振興会); 2013 Jun 20; 射水. (講演)
- 18) 立瀬剛志. キャリア支援に向けたウィルプラン. 雄峰高校職員研修; 2013 Jun 22; 富山. (講演)
- 19) 関根道和. 早寝・早起き・朝ごはん健康増進・学食増進. じいちゃん・ばあちゃんの孫育て談義事業講演会 (主催: 射水市教育委員会・射水市家庭教育アドバイザー連絡協議会, 協力: 戸破地域振興会); 2013 Jun 25; 射水. (講演)
- 20) 関根道和. 「早寝・早起き・朝ごはん」で健康増進・学力増進. 立山町立雄山中学校「睡眠と健康に関する講演会」; 2013 Jul 11; 立山. (講演)
- 21) 関根道和. 労働安全衛生について—平成 24 年度富山大学職員疲労蓄積度調査報告—. 富山大学杉谷キャンパス安全衛生に関する講習会; 2013 Jul 16; 富山. (講演)
- 22) 立瀬剛志. 現代社会における QOL とセルフケア. 富山市民大学—医薬生活学を学ぶ; 2013 Jul 19; 富山. (講演)
- 23) 立瀬剛志. 健康になる一日の過ごし方. 榎尾小学校学校保健委員会—榎尾大学; 2013 Jul 29; 富山. (講演)
- 24) 関根道和. 子どもの格差・貧困問題を考える—生活習慣・教育機会・健康—. 第 50 回北陸三県学校保健研究協議会兼富山県学校保健研究大会 (主催: 福井・石川・富山三県教育委員会, 福井・石川・富山三学校保健会); 2013 Aug 1; 富山. (講演)
- 25) 関根道和. 社会経済的要因による健康格差—国際比較からみた日本—. 第 19 回社会医学サマーセミナー (主催: 全国機関衛生学公衆衛生学教育協議会); 2013 Aug 24; 金沢. (講演)
- 26) 立瀬剛志. 仕事の質とメンタルヘルス—健康な経営を目指して. 富士ゼロックス管理監督者研修会; 2013 Aug 29; 滑川. (講演)
- 27) 立瀬剛志. 現代の豊かさと健康. 富山大学ケアウィル講座; 2013 Sep 7; 富山. (講演)
- 28) 立瀬剛志. みんなでつながる健康づくり. 富山市健康づくり交流会; 2013 Oct 9; 富山. (講演)
- 29) 関根道和. 「早寝・早起き・朝ごはん」で健康増進・学力増進. 富山市立堀川南小学校・平成 25 年度学校保健委員

会「早起きで、げんきパワーアップ！—自分の生活リズムを見直そう」；2013 Oct 17；富山。（講演）

- 30) 関根道和。「早寝・早起き・朝ごはん」で生活習慣病予防。平成 25 年度新潟県学校保健研究大会「望ましい生活習慣の定着を目指した健康教育—家庭・地域と連携した取組から」（主催：新潟県教育委員会，新潟市教育委員会，新潟県学校保健会，新潟県医師会，新潟県歯科医師会，新潟県学校薬剤師会）；2013 Oct 31；新潟。（講演）
- 31) 関根道和。「地域社会の健康づくり 10 の提言—WHO Social Determinants of Health」．まちぐるみ健康づくり交流会「みんなで描く健康なまちづくり」（主催：富山市）；2013 Nov 9；富山。（講演）
- 32) 関根道和。高校生の生活習慣と健康。平成 25 年度新川地区高等学校保健連絡協議会講演（富山県教育委員会学校保健問題解決支援事業・新川地区高等学校保健連絡協議会）；2013 Nov 13；上市。（講演）
- 33) 関根道和。「早寝・早起き・朝ごはん」で健康増進・学力増進。入善町立ひばり野小学校・平成 25 年度学校保健委員会；2013 Nov 14；入善。（講演）
- 34) 立瀬剛志。心と体の健康を考える。雄峰高校健康教育講演会；2013 Nov 14；富山。（講演）
- 35) 立瀬剛志。健康になる一日の過ごし方。上市中央小学校—青少年健康づくり支援事業；2013 Nov 15；上市。（講演）
- 36) 立瀬剛志。この時代のストレスとメンタルヘルス—どのような対人関係が心に効くのか—。NPO みどりの風市民公開講座；2013 Nov 17；富山。（講演）
- 37) 関根道和。格差社会と子どもの生活習慣・教育機会・健康—社会の絆で格差の連鎖から子どもを守る。富山県国際健康プラザ健康医学講演会；2013 Nov 22；富山。（講演）
- 38) 立瀬剛志。人生のケアを創造する地域づくり。北陸 4 大学まちなかセミナー；2013 Nov 24；金沢。（講演）
- 39) 立瀬剛志。みんなで支えあう健康で元気なまちづくり。高岡市民健康フォーラム；2013 Nov 28；高岡。（講演）
- 40) 関根道和。「早寝・早起き・朝ごはん」で健康増進・学力増進。砺波市学校保健会研究大会；2013 Nov 28；砺波。（講演）
- 41) 関根道和。「早寝・早起き・朝ごはん」で健康増進・学力増進。平成 25 年度立山町立高野小学校学校保健委員会（富山県中部厚生センター・青少年健康づくり支援事業）；2013 Nov 29；立山。（講演）
- 42) 立瀬剛志。思いやりの伝え方—自殺リスクと日常の支援—。平成 25 年度地域ストレス対策教育—ゲートキーパー応用講習会；2013 Nov 30；高岡。（講演）
- 43) 立瀬剛志。思いやりの伝え方—自殺リスクと日常の支援—。平成 25 年度地域ストレス対策教育—ゲートキーパー応用講習会；2013 Dec 7；砺波。（講演）
- 44) 立瀬剛志。社会の健康—地域活動のこれからを考える。下新川郡公民館連絡協議会研修会；2013 Dec 7；朝日。（講演）
- 45) 立瀬剛志。自分らしい生き方や生きがいづくりを考える。富山市地域ぐるみ心の健康づくり講座；2013 Dec 12；富山。（講演）
- 46) 関根道和。クイズ 100 人の学者が教えます。フジテレビジョン特別番組（フジクリエイティブコーポレーション）；2013 Sep 28；東京。（番組協力）